



公益財団法人
福島県文化振興財団

ふくしま文化情報

《とうほう・みんなの文化センターと県内のイベント情報を掲載》

2026

1・2

January/February



夜を照らす数多の星よ

福島県政150周年・東日本大震災15年

大ゴッホ展
Grand van Gogh Exhibition
夜のカフェテラス

2026 2.21 Sat - 5.10 Sun

福島県立美術館
Fukushima Prefectural Museum of Art

【開館時間】9:30～17:00(最終入館 16:30) 【休館日】月曜日(2/23、5/4は開館)、2/24
土日祝日・4月14日以降 日時指定予約制

福島県政150周年・東日本大震災15年

大ゴッホ展

Grand van Gogh Exhibition

夜のカフェテラス

世界屈指の名作の数々から
ゴッホの画業と人生をたどる

【会 期】 2/21(土)～5/10(日)

9:30～17:00(最終入館 16:30)

【会 場】 福島市・県立美術館

※会場には、一般来場者用の駐車場はありません。
福島市街の駐車場及び公共交通機関をご利用ください。

【休 日】 月曜日(2/23、5/4をのぞく)、2/24

※開館時間、休館日は変更になる場合があります。

大胆な色彩と力強い筆遣いによって、近代絵画史に忘れ得ぬ足跡を残したフィンセント・ファン・ゴッホ。本展では、世界屈指のゴッホのコレクションを誇るクレラー＝ミュラー美術館所蔵の名作を、2026(令和8)年の第1期と2027(令和9)年の第2期に分けて紹介する。

第1期では、初期のオランダ時代から、パリを経て、南仏アルルに至るゴッホの前半生に焦点を当てる。日本での公開は21年ぶりとなる「夜のカフェテラス」ほか名作の数々とともに、モネやルノワールなど同時代の画家たちの作品も併せて展示し、ゴッホの人生と画業をたどる。

【料 金】

		一般・ 大学生	福島県外 高校生	福島県外 小・中学生
前 売 券	平日 (～4/10)	2,500円	1,300円	1,000円
	土日・祝日、 4/14～	2,800円	1,400円	1,100円
観 覧 券	平日 (～4/10)	2,800円	1,400円	1,100円
	土日・祝日、 4/14～	3,000円	1,500円	1,200円

※県内高校生以下、障がい者、障がい者同伴(1名まで)、未就学児については無料。
※前売券の販売期間は2月20日まで。

【主 催】

大ゴッホ展実行委員会

(構成機関：福島県/福島県教育委員会/
福島県立美術館/公立大学法人福島県立医科大学/
福島市/福島民報社/NHK福島放送局/福島テレビ/
福島中央テレビ/福島放送/テレビユー福島/
ラジオ福島/ふくしまFM)

【問合せ】大ゴッホ展実行委員会事務局
(福島民報社)(024)531-4171

大ゴッホ展・福島展公式サイト



○ Event Schedule

イベントスケジュール1・2月

※本誌に掲載した情報は、すべて12月10日現在のものです。
主催者の都合により掲載内容が変更となる場合がございますので、ご了承ください。

音楽

1/12(月・祝)
ニューイヤーコンサート2026 in まほら
トルヴェール・クワルテット

所 三春町・三春交流館「まほら」 **時** 14:00
¥《全席指定》
(前売)一般・大学生3,500円、小・中学・高校生1,500円
(当日)一般・大学生4,000円、小・中学・高校生2,000円
出 須川展也(ソプラノ・サクソフォン)、彦坂真一郎(アルト・サクソフォン)、神保佳祐(テナー・サクソフォン)
田中靖人(バリトン・サクソフォン)、小柳美奈子(ピアノ)
曲 R.ロジャース(真島俊夫編曲)「マイ・フェイバリット・シングス」ほか **問** まほら(0247)62-3837
※クラシックからオリジナル編曲まで多彩なレパートリーを持ち、国内外で活躍するサクソフォン四重奏団。未就学児入場不可。

1/18(日)
白河市コミネス交響楽団
NEW YEAR CONCERT 2026
所 白河市・白河文化交流館コミネス **時** 14:00
¥《全席指定》一般・大学生1,000円、高校生以下500円
3歳未満膝上鑑賞無料(席が必要な場合は要チケット)
出 水戸博之(指揮)、大竹晃司(同)、松崎ささら(ソプラノ)
曲 歌劇「ラ・ボエーム」より ムゼッタのワルツ
歌劇「ジャンニ・スキッキ」より 私のお父さまほか
問 コミネス(0248)23-5300
※白河文化交流館コミネスに附属するオーケストラとして2021(令和3)年に発足した楽団。音楽監督はオーケストラ・トリプティーク常任指揮者の水戸博之。

1/24(土) **障がい者割引**
音楽の絵本 Romanesque(ロマネスク)
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)
時 10:30、14:00

《スケジュール内の記号について》
チケット販売中 県文化センター管理事務所でチケット販売中
障がい者割引 **障がい者無料** 手帳など証明書類を所持参、主催者へ要問合せ
所 開催場所 **出** 出演予定者
時 開演・開始時間 **曲** 演奏予定曲
休 休館日 **講** 講師予定者
¥ 料金 **題** 演題
※(前売)の記載がない場合、当日券の料金(税込み) **問** お問い合わせ

¥《全席指定》中学生以上2,500円、小学生以下500円
3歳以下膝上鑑賞無料(席が必要な場合は要チケット)
曲 イエスタディ、こぎつね、白雪姫より「ハイ・ホー」
ラプソディーインブルーほか
問 郡山市民文化センター(024)934-2288
※親子で楽しめるクラシックコンサート。ジャイアントパンダの指揮、四つ子のきつねのサクソ四重奏、うさぎ四姉妹の弦楽四重奏など、着ぐるみの動物たちがクラシックやアニメ音楽・童謡などの音楽を演奏する。

1/25(日)
菊池亮太Piano Recital TOUR'25-'26
『人生の階段』
所 国見町観月台文化センター **時** 14:00
¥《全席指定》(前売)4,000円 (当日)4,500円
問 観月台文化センター(024)585-2676
※作曲家・YouTubeクリエイターとしても活動するピアニスト。未就学児入場不可。

1/25(日)
チェンバロ・コンサートのススメ⑦
「リクレアツィオン・ダルカディア～理想郷での楽しみ」～ゴルトベルクをめぐって～
所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス **時** 14:00
¥《全席指定》
一般3,500円、U25(25歳以下)1,750円、withチケット(介助者用チケット)500円、車いす補助席500円
※車いす席はアリオスチケットセンターで販売
出 松永綾子(バロック・ヴァイオリン)、山口幸恵(バロック・ヴァイオリン)、懸田貴嗣(バロック・チェロ)
渡邊孝(チェンバロ)
問 アリオスチケットセンター(0246)22-5800
※作曲家ヨハン・ゴットフリープ・ゴルトベルクの〈トリオ・ソナタ集〉を中心に、ゴルトベルクの名が知られるきっかけとなったJ.S.バッハの作品などを演奏する。未就学児入場不可。

2/8(日)
安積合唱協会 第30回記念定期演奏会
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)
時 14:00 **¥** 一般・大学生1,500円、小・中学・高校生500円
出 穴戸真市(指揮)、馬場田あや乃(ピアノ、オルガン)
安積合唱協会(合唱)、記念演奏会スペシャルオーケストラ(弦楽)
曲 J.G.ラインベルガー「ミサ曲 ハ長調 Op.169」ほか
問 事務局(090)3640-4322
※中世・ルネサンス、バロック時代の合唱曲演奏を目的に結成された市民混声合唱団。同団体の原点であるルネサンス～ロマン派の名曲のほか、本公演のために編成したプロオーケストラの伴奏で、ラインベルガーの「ミサ曲 ハ長調 Op.169」を披露する。

2/8(日)
角野未来ピアノリサイタル
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂)
時 14:00 **¥**《全席指定》(前売)3,000円
曲 モーツァルト「きらきら星変奏曲」
ショパン「華麗なる大円舞曲」「幻想即興曲」ほか
問 音楽堂(024)531-6221
※2025(令和7)年アンリ・コワルスキ国際ピアノコンクールで優勝するほか、日本フィルハーモニー交響楽団など著名なオーケストラとも共演歴のあるピアニスト。

2/15(日)
いわき吹奏楽団 The Concert 2026
所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス **時** 13:30
¥ 中学生以上500円、小学生以下無料
曲 田村修平「プロローグ・ワン」
すぎやまこういち・真島俊夫「吹奏楽のための『ドラゴンクエストI』より序曲」ほか
問 事務局(080)3197-6160
※いわき市を拠点に活動する市民吹奏楽団。今年で結成41年目を迎えるにあたり、「50周年に向けた新たな一歩」をテーマに開催。

2/15(日)
第27回 音楽都市こおりやま ふれあいコンサート
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)
時 14:00 **¥**《全席指定》無料(要入場券)
出 本名徹次(指揮、郡山市出身)、辻彩奈(ヴァイオリン)
郡山交響楽団(管弦楽)

ミュージック・フレンズ(オーケストラ市民参加者)
naco(司会)
曲 エルガー「行進曲『威風堂々』第1番」
ショスタコーヴィチ「ジャズ組曲第2番よりワルツNo.2」ほか
問 郡山市民文化センター(024)934-2288
※郡山市のフロンティア大使を務める指揮者・本名徹次ら、国内外で広く活動する演奏家と、公募によって集まった郡山市民との共演ステージ。1月16日(金)まで、申込フォームまたは往復はがきにて申込受付。

2/15(日)
福島市民オーケストラ第70回記念定期演奏会
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂) **時** 14:00
¥ 一般・大学生2,000円、小・中学・高校生1,000円
出 下野竜也(指揮)、福島市民オーケストラ(管弦楽)
曲 ニコライ「歌劇『ウインザーの陽気な女房たち』序曲」
J.シュトラウスⅡ「皇帝円舞曲」
マーラー「交響曲 第1番 二長調『巨人』」
問 事務局(090)6256-2000
※福島市を拠点に活動するアマチュアオーケストラ。70回目の定期演奏会開催を記念し、NHK交響楽団正指揮者の下野竜也さんを迎える。未就学児入場不可。

舞台

1/18(日)
こおりやま寄席 新春言祝ぎ席
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)
時 14:00 **¥**《全席指定》3,200円
出 桃月庵ぼんぼり(落語)、山上兄弟(マジック)、瀧川鯉斗(落語)
柳家小ふね(落語、福島市出身)、ねづっち(漫談)
橘家圓太郎(落語)
問 郡山市民文化センター(024)934-2288
※未就学児入場不可。

2/28(土)
たむら春待ち落語会
所 田村市文化センター
時 13:30 **¥**《全席指定》(前売)3,500円 (当日)4,000円
問 田村市文化センター(0247)82-5030
※田村市の市制施行20周年記念イベント。若手真打をけん引する柳亭小痴楽と桂二葉、「令和7年度NHK新人落語大賞」を受賞した春風亭一花が出演。未就学児入場不可。

1/18(日)
芸術文化による福島まち造り2026 第1回 作詞・作曲人材育成プロジェクト
発表コンサート 若き音楽家たちの響演
県北地域の小・中学生が作詞した10曲をオーケストラ演奏で披露
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂) **時** 14:00
¥ 一般2,000円、大学院生以下1,000円、レセプション付きチケット5,000円
出 嶋津武仁(指揮)、岡部富士夫(同)、阿部絵美子(歌)、瀧薫(同)、富山律子(ピアノ)
古閑裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」(弦楽・打楽器) **問** 音楽堂(024)531-6221
※芸術文化の人材育成を目的に、福島から新たな才能を発掘・発信するプロジェクト。県北地域在住の小・中学生から地域の自然や伝統芸能をテーマに募集した作詞部門の審査と、その入選作品につける曲を全国から公募した作曲部門の選考により完成した10作品をコンサート形式で披露する。演奏に先立ち、元飯館村村長・菅野典雄さんの基調講演もある。



2/7(土)
Theater M.A.M. 第一回公演 二人芝居「嫌い。」
異なる劇団の3人がともに紡ぐ舞台
所 会津若松市・會津稽古堂 **時** 13:00、17:00
出 中村美華(劇団び〜ひゃらら)、野木晃子(劇団ウィンド・カンパニー)、数本彩音(ピアノ)
¥(前売)中学生以上995円 (当日)中学生以上999円 **問** 事務局(090)3469-9229
※会津若松市の市民参加型演劇イベント「てづくり舞台」に参加したのをきっかけに出会った中村美華さんと野木晃子さん、真壁もと子さん(ミュージカルカンパニーふるきやら、演出助手)による演劇ユニットの旗揚げ公演。普段は別の劇団で活躍する3人が、各々の個性を生かし、揺れる心と交錯する記憶が導く物語を紡ぎ出す。人生の終わりに差し掛かったフユミは、ナツコとの再会で心に眠る感情を呼び起こされる。彼女の人生を支配してきた「嫌い」の正体とは。小学生以下入場不可。



自主上映

1/10(土)
アサカ理研 郡山中央図書館 子ども映画会

所 郡山市・アサカ理研 郡山中央図書館

時 10:00、14:00 ￼ 無料

問 図書館(024)923-6616

※定員各回当日先着250名。上映作品は、「ふるさと日本の昔ばなし 決定版 落語『まんじゅうこわい』ほか」(51分)。

1/17(土)
アサカ理研 郡山中央図書館 映画会
「映画めんたいぴりり パンジーの花」

所 郡山市・アサカ理研 郡山中央図書館

時 10:00、14:00 ￼ 無料(要整理券)

問 図書館(024)923-6616

※定員各回当日先着100名。各上映開始時間30分前に整理券配布。上映作品は、辛子明太子を日本で初めて製造、販売した「ふくや」の創業者・川原俊夫をモデルに、2013(平成25)年に放送された同名テレビドラマの劇場版「映画めんたいぴりり パンジーの花」(2023年、99分)。

展 示

開催中～1/18(日) ￼ 障がい者無料
喜多方の染型紙「会津型」展
—雪国の四季とたのしむデザイン—

所 喜多方市美術館

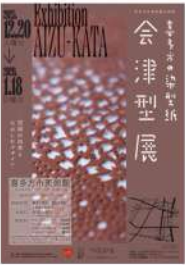
時 10:00～18:00(最終入場17:30まで)

休 水曜日、12/28～1/4

￼ 一般・大学生130円
小・中学・高校生50円
65歳以上75歳未満60円
未就学児・75歳以上無料

問 喜多方市教育委員会文化課
文化芸術振興班(0241)24-5323

※県指定文化財の実物の型紙と関連資料を通して会津型の魅力を紹介する。詳細はp8インタビューコーナー参照。



開催中～1/18(日) ￼ 障がい者無料
メルヘン
巨匠ハインツ・ヴェルナーの描いた物語
現代マイセンの磁器芸術

所 郡山市立美術館 時 9:30～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(1/12をのぞく)、12/28～1/5、1/13

1/24(土)～5/10(日)
ふくしまの縄文・弥生時代—只見川流域の遺跡—

奥会津で出土した資料から只見川流域の縄文・弥生時代にせまる

所 白河市・県文化財センター白河館まほろん 時 9:30～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(2/23、5/4をのぞく)、2/12、2/24、3/16～4/3、4/30、5/7

￼ 無料 問 まほろん(0248)21-0700

※奥会津地方を流れる只見川流域に所在する遺跡にスポットを当て紹介する企画展。近年発掘調査が行われた三島町・小和瀬遺跡や、金山町・中西部遺跡から出土し同館に所蔵されている縄文時代晩期後葉から弥生時代中期中葉の土器や土偶のほか、只見・金山・三島・柳津・会津坂下の各町所蔵の関連資料などを展示し、只見川流域の縄文・弥生時代について考える。3月15日(日)までは前期展、展示品の入れ替え期間をはさみ4月4日(土)から後期展。



￼ 一般1,200円、高校・大学生・65歳以上900円
中学生以下無料

問 美術館(024)956-2200

※戦後のドイツで「生きる喜び」の表現をモットーに、豊かな物語世界を装飾に表した絵付師、ハインツ・ヴェルナーの作品に着目し、現代マイセンの磁器芸術を紹介。1月11日(日)午後2時から同館学芸員によるギャラリートーク、1月18日(日)午後2時から同館学芸員による美術講座「ハインツ・ヴェルナーの装飾」もある。

開催中～3/1(日)
児童文学者 山内秋生の業績と作品
—没後60年(生誕135年)只見町二軒在家出身の作家—

所 只見町、ただみ・モノとくらしのミュージアム

時 9:30～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(1/12、2/23をのぞく)、12/29～1/5、1/13、2/24

￼ 無料 問 ミュージアム(0241)86-2175

※只見町出身の児童文学作家・山内秋生の作品が掲載された雑誌や童話集、実用書を展示し、山内の業績と作品について紹介する。

開催中～3/15(日)
石器に見る旧石器時代から縄文時代への変化
～仙台内前遺跡出土石器を中心に～

所 福島市・じょーもびあ宮畑

時 9:00～17:00(最終入館16:30)

休 火曜日(1/6をのぞく)、12/29～1/3 ￼ 無料

問 じょーもびあ宮畑(024)573-0015

※旧石器時代から縄文時代にかけての福島市・仙台内前遺跡の石器などを展示。1月17日(土)午後3時頃、2月15日(日)午前10時30分、午後1時30分からは、同館職員によるギャラリートークもある。

開催中～3/22(日) ￼ 障がい者無料
記憶を紡ぐ—南相馬市博物館30年

所 南相馬市博物館

時 9:00～16:45(最終入館16:00)

休 月曜日(1/12、2/23をのぞく)、12/29～1/3、1/13、2/24

￼ 一般・大学生400円、高校生200円、小・中学生100円

問 博物館(0244)23-6421

※2025(令和7)年8月に開館30周年を迎えた同館の歩みを、過去の企画展の展示資料を中心に、これまでの出来事、関係者のコメントを交えながら振り返る。

開催中～3/22(日)
福島県歴史資料館収蔵資料展
「新公開史料展」

所 福島市・県歴史資料館

時 9:00～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(1/12、2/23をのぞく)、12/28～1/4、1/13、2/24

※会期中に1週間程度の工事休館を予定
ホームページやX(旧Twitter)でお知らせ

￼ 無料 問 資料館(024)534-9193

※『福島県歴史資料館収蔵資料目録』第56集に収録され、新たに公開した文書群を展示する。伊達郡藤田村(現国見町)ゆかりの「二文字屋文書(その2)」、および伊達郡小坂村(現国見町)ゆかりの「高原庄一家文書(その2)」を取り上げ、文書群の魅力と特徴的史料を紹介。2月22日(日)午後1時30分からは、同館学芸員による展示解説会もある。



開催中～3/30(月) ￼ 障がい者無料
企画展アーカイブ「只見の哺乳動物とその生態」
所 只見町、ただみ・ブナと川のミュージアム
(只見町ブナセンター)

時 9:00～17:00(最終入館16:00) 休 火曜日、12/27～1/4

￼ 高校生以上310円、小・中学生210円

問 ブナセンター(0241)72-8355

※過去に同センターが開催した企画展「只見の野生動物とその生態」のアーカイブ展。只見町で確認されている哺乳類各種の生態や人との関わりについて、センサーカメラで撮影した画像や町民から寄贈された剥製を交えて展示・解説。

開催中～4/5(日)
西田記念館開館30周年記念
西田峯吉のこけし蒐集の足跡とまなざし

所 福島市・原郷のこけし群 西田記念館

時 10:00～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(1/12、2/23をのぞく)、12/29～1/3、1/13、2/24

￼ 一般・大学・高校生300円、中学生以下無料

問 西田記念館(024)593-0639

※こけしの蒐集・研究を行い、こけし界の指導者として尽力した西田峯吉のコレクション作品から、その足跡をたどる。

1/6(火)～1/25(日)
いわき市小・中学生版画展 プラス—版画のカー

所 いわき市立美術館 時 9:30～17:00(最終入場16:30)

休 1/13、1/19 ￼ 無料

問 美術館(0246)25-1111

※いわき市内の小・中学校と特別支援学校の計23校の児童・生徒による版画作品展。同館所蔵の版画作品による「さまざまな版画表現～スクリーンプリント～」と同館で開催した「夏休み子ども版画教室」参加者の作品展示も同時開催。会期中、箏と尺八、三絃によるコンサートや版画のワークショップ、版画体験コーナーなどもある。詳細は要問合せ。

1/6(火)～1/25(日)
酒井なみ 写真展「風雅の調べ・湖畔の孤高」

所 矢吹町ふるさとの森芸術村

時 9:00～17:00(最終日は15:00まで)

休 月曜日 ￼ 無料

問 芸術村(0248)42-4506

※郡山市在住の写真家による、水と自然の造形美や猪苗代湖

湖畔に佇む一本桜の様々な情景を撮影した写真作品など約50点を展示。

1/6(火)～2/22(日) ￼ 障がい者無料
発掘された日本列島2025
所 郡山市歴史情報博物館
時 9:30～17:00(最終入館16:30)
休 月曜日(1/12をのぞく)、1/13、1/30
￼ 一般800円、高校・大学生・65歳以上500円、中学生以下無料
問 博物館(024)923-8921

※今年度東日本で唯一開催する文化庁巡回展。近年行われた全国各地の発掘調査で特に注目された出土品を中心に公開。1月10日(土)、2月1日(日)、2月22日(日)各日とも午後1時30分からは、同館職員による展示解説もある。

1/6(火)～2/22(日)
郡山盆地の前期古墳

所 郡山市・陸山工務店大安場史跡パーク(大安場史跡公園)

時 9:00～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(1/12をのぞく)、1/13

￼ 無料

問 郡山市歴史情報博物館(024)923-8921

※全国巡回展「発掘された日本列島2025」の地域展示。交通の要衝である郡山市とその周辺地域で、古墳時代がどのようにして始まったかを、古墳や集落の遺跡に関する資料から紹介する。

1/6(火)～3/29(日)
斎藤清と写真

所 柳津町・やないづ町立斎藤清美術館

時 9:00～16:30(最終入館16:00)

休 月曜日(1/12、2/23をのぞく)、1/13、2/24

￼ 一般510円、高校・大学生300円、小・中学生無料

問 美術館(0241)42-3630

※作品制作の様子をはじめ、斎藤清の創作に影響を与えた海外の風景や人々との交流などを捉えた同館保管の写真・映像資料を関連作品とともに紹介。

1/10(土)～2/1(日) ￼ 障がい者無料
絵画の臨界点
—若松光一郎、鎌田正蔵のフォルム—

所 福島市・県立美術館

時 9:30～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(1/12をのぞく)、1/13

￼ 一般・大学生360円、高校生以下無料

問 美術館(024)531-5511

※福島洋画界を牽引した2名の作家の画業を、同館コレクションにより紹介。1月10日(土)・24日(土)いずれも午後2時から、同館学芸員によるギャラリートークもある。

2/21(土)～5/10(日) ￼ 障がい者無料
福島県政150周年・東日本大震災15年
大ゴッホ展 夜のカフェテラス

所 福島市・県立美術館

時 9:30～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(2/23、5/4をのぞく)、2/24

問 大ゴッホ展実行委員会事務局

(福島民報社)(024)531-4171

※料金ほか詳細は表紙参照。



福島県文化センターの公式



チャンネルでは、施設案内や

当館で開催された催しの様子などをご覧いただけます。アクセスはこちらから→



当館の最新情報や日常の様子を、公式



で発信しています。

アクセスはこちらから→



Facebook



Instagram

県外

2/8(日)～3/29(日) 観がい者無料
北條正庸 風の旅
所 栃木県・宇都宮美術館 時 9:30～17:00(最終入館 16:30)
休 月曜日(2/23をのぞく)、2/24
料 一般 1,000 円、高校・大学生 800 円、小・中学生 600 円
問 美術館 (028)643-0100
※半世紀以上にわたり宇都宮で制作活動をつづけてきた画家・北條正庸の代表作から新作まで、約 100 点を展示。

2/10(火)～4/12(日) 観がい者無料
藤田嗣治 絵画と写真
所 茨城県近代美術館 時 9:30～17:00(最終入館 16:30)
休 月曜日(2/23をのぞく)、2/24
料 一般・大学生 1,360 円、高校生 1,130 円、小・中学生 550 円
満 70 歳以上 680 円
問 美術館 (029)243-5111
※エコール・ド・パリを代表する画家・藤田嗣治が撮影した写真や影響を受けた写真家の作品などを絵画作品とともに展示し、藤田の作品と写真との関係性について紐解く。

2/14(土)～7/5(日) 観がい者無料
クヴェレ美術館 開館記念展 I
Meet 美の交差点 近代日本画と東洋陶磁
所 茨城県・クヴェレ美術館
時 10:30～17:30(最終入館 17:00)
毎週金曜日は 19:00 まで(最終入館 18:30)
休 月曜日(2/23、5/4をのぞく)、第 2 火曜日、2/24
4/23～4/27、5/7
料 一般・大学生 700 円、高校生以下無料
問 美術館 (029)224-7123
※2 月 14 日(土)に開館する同館所蔵の日本近現代の絵画と工芸作品、市内のコレクター故・吉田光男氏より寄贈されたシルクロードにまつわる作品や陶磁器約 630 点のコレクションの中から厳選した名品たちを展示。4 月 28 日(火)より後期展。

講演・講座

1/17(土)
記念講演会「特別展『発掘された日本列島 2025』の見どころ」
所 郡山市歴史情報博物館 時 13:30 料 無料
講 大澤正吾(文化庁文化財第二課文化財調査官)
問 博物館 (024)923-8921
※定員 100 名(要申込)。企画展「発掘された日本列島 2025」関連イベント。12 月 27 日(土)まで、博物館窓口、FAX(024-923-8922)、申込フォームにて申込受付。

1/17(土)
宮畑講座「学壇遺跡群・仙台内前遺跡にみる福島市の縄文時代の始まり」
所 福島市・じょーもびあ宮畑 時 13:30 料 無料(要申込)
講 同館学芸員 問 じょーもびあ宮畑 (024)573-0015
※定員先着 80 名(要申込)。学壇遺跡・仙台内前遺跡の資料を中心に、旧石器時代から縄文時代にかけての石器の変化や、旧石器時代と縄文時代の石器の違いを通して、当時の社会や文化を解説する。電話またはメール(jomopia-miyahata@bz04.plala.or.jp)にて申込受付。詳細は要問合せ。

1/24(土)
大ゴッホ展 開催記念講演会
所 いわき市・LATOV(ラトブ) 時 13:30
料 無料(要申込) 講 渡邊晃一(福島大学教授)
題 入門 ゴッホの描いた世界～今、福島から！世界を魅了した『絵・画』の秘密に迫る～
問 郡中トラベル (024)953-4887
※定員先着 300 名(要申込)。「大ゴッホ展 夜のカフェテラス」関連イベント。ゴッホの制作過程に関する講演。Web より申込受付。

1/25(日)
企画展「ふくしまの縄文・弥生時代ー只見川流域の遺跡ー」関連講演会 1
所 白河市・県文化財センター白河館まほろん 時 13:30
料 無料 題 奥会津を歩きかう縄文・弥生文化
問 まほろん (0248)21-0700
※定員当日先着 60 名。石川日出志館長による講演。

2/14(土)
特別記念講演会「東国千年の都・古墳から古代へー群馬の古代遺跡ー」
所 郡山市歴史情報博物館 時 13:30 料 無料
講 滝沢匡(高崎市教育委員会) 問 博物館 (024)923-8921
※定員 100 名(要申込)。企画展「発掘された日本列島 2025」関連イベント。1 月 6 日(火)から 1 月 31 日(土)まで、博物館窓口、FAX(024-923-8922)、申込フォームにて申込受付。

2/21(土)
まほろん 第 5 回館長講演会
所 白河市・県文化財センター白河館まほろん 時 13:30 料 無料
題 日本歴史の扉を開いた遺跡(4)群馬県岩宿遺跡ー旧石器時代ー
問 まほろん (0248)21-0700
※石川日出志館長の講演。

2/28(土)
講座「南相馬の〇〇のはなし」
所 南相馬市博物館 時 13:30 料 無料(要申込)
講 竹谷陽二郎(元福島県立博物館学芸員)
題 ①自然編「南相馬 5 億年の自然史」
問 博物館 (0244)23-6421
※定員先着 40 名(要申込)。地質学研究者による講演と、裏話や思い出を交えた常設展示の解説。1 月 31 日(土)午前 9 時から、電話にて申込受付。

その他

1/10(土)
トークイベント 喜多方のデジタルアーカイブをつくろう
所 喜多方市・喜多方プラザ文化センター
時 13:30 料 無料
出 小林直輝(東北歴史博物館民俗分野 技師)
加茂瑞穂(武庫川女子大学文学部歴史文化学科講師)
川又勝子(東北生活文化大学家政学部家政学科教授)
問 喜多方市教育委員会文化課文化芸術振興班 (0241)24-5323
※定員当日先着 50 名。博物館や大学などで専門的に調査研究を行う 3 名の講師による、地域文化を育むデジタルアーカイブの新たなかたちについての基調講演やパネルディスカッションなど。

財団トピックス

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)文化会館の利用申請受付会を開催します！

ただいま休館中のとうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)文化会館は、令和 8 年 9 月 1 日(火)より再開館を予定しております。つきましては、再開館後の利用申請受付会を下記のとおり行います。ご利用を希望する方は、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

(1) 大ホール以外をご利用希望の方

【対象施設】小ホール、小ホール控室、和室
2 階会議室兼展示室、
3 階展示室、3 階ギャラリー
視聴覚室、応接室、1 階会議室

【受付対象期間】令和 8 年 9 月 1 日(火)から
令和 9 年 1 月 31 日(日)の利用

【開催日時】令和 8 年 1 月 15 日(木)

受付対象期間	会場	受付時間	利用希望確認
令和8年9月利用	コラッセふくしま 4階 多目的ホール	9:30～10:00	10:00～10:15
令和8年10月利用			10:15～10:30
令和8年11月利用		10:30～11:00	11:00～11:15
令和8年12月利用			11:15～11:30
令和9年1月利用		11:30～12:00	12:00～12:15

【会 場】福島市・コラッセふくしま 4 階
多目的ホール(福島市三河南町 1-20)

注意点

(1) 大ホールと大ホール以外の施設を同日にセットで利用を希望する場合は、1 月 15 日(木)と 2 月 18 日(水)の両方の受付会にご参加ください。

(2) 利用申請受付は、先着順ではありません。

(3) 利用希望が重複した場合は、希望者間の抽選によって利用者を決定させていただきます。

(4) 福島県や財団が主催する催物等については、先行して予定が入っている場合があります。

※令和 8 年 9 月の 3 階展示室および 2 階会議室兼展示室は、福島県等主催の大規模催事の予定が入っております。何卒ご了承ください。

(2) 大ホールをご利用希望の方

【対象施設】大ホール、リハーサル室
第 1 楽屋、第 2 楽屋、第 3 楽屋
第 4 楽屋、主催者室、浴室

【受付対象期間】令和 8 年 9 月 1 日(火)から
令和 9 年 2 月 28 日(日)の利用

【開催日時】令和 8 年 2 月 18 日(水)

受付対象期間	会場	受付時間	利用希望確認
令和8年9月利用	アオウゼ 小活動室1	9:30～10:00	10:00～10:15
令和8年10月利用			10:15～10:30
令和8年11月利用	アオウゼ 小活動室2	10:30～11:00	11:00～11:15
令和8年12月利用			11:15～11:30
令和9年1月利用	アオウゼ 小活動室1	11:30～12:00	12:00～12:15
令和9年2月利用			12:15～12:30

【会 場】福島市アクティブシニアセンター
アオウゼ 小活動室 1・小活動室 2
(福島市曾根田町 1-18 曾根田ショッピング
センター MAX ふくしま 4 階)

(5) 展示室の利用については、できるだけ多くの主催者が行事を開催できるよう調整させていただく場合があります。

(6) 利用申請受付会開催中は、福島県文化センター管理事務所窓口や電話での受付は行いません。受付会終了後、準備が整い次第、受付いたします。

【お問合せ先】
とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)管理事務所
電話：(024)534-9191
住所：〒960-8115 福島県福島市山下町 1-25

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)管理事務所で販売中のチケット ※12 月 10 日現在の情報です。

イベント名	会場	開催日時	料金(前売)	お問合せ
「田中彩子 ソプラノ・リサイタル 2026 in 郡山」Presented by WOWOWプラス	けんしん郡山文化センター (郡山市民文化センター)	4 月 18 日(土)14:00	《全席指定》 一般 6,000 円	福島中央テレビ事業部 (024)924-1100



スポットライト

— 今、注目のイベント情報

喜多方の染型紙「会津型」展 — 雪国の四季とたのしむデザイン

喜多方を代表する文化財「会津型」 素朴な美しさを楽しめる展覧会を開催

#15 喜多方市教育委員会 副主任学芸員 木幡 江里子さん

「会津型」は、江戸時代後期から喜多方の一軒の型紙商によって販売・製造された着物の柄を染める染型紙である。染型紙とは、柿渋で貼り合わせた和紙に彫刻刀で図柄を彫り出したもの。幾何学模様や自然を題材にした柄など、精巧に表現されたデザインが特徴で、東北一円に販売された。

良質な和紙や柿渋の材料となる豆柿の産地だった喜多方は、伊勢白子（三重県鈴鹿市）・京都・江戸と並ぶ染型紙の生産地であったともいわれる。会津藩の公認を受けた小野寺家（現小野寺漆器店）が販売・製造し、1935（昭和10）年頃まで産業として続いた。後年の調査で同家から37,000点を超える型紙と関係資料が見つかり、県の有形民俗文化財に指定された。

近年、喜多方市は会津型を活用した市民参加型の事業に取り組んでいる。開催中の「きたかた会津型ウィーク2025」では、若い世代にも働きかけ、高校生とさまざまな連携企画を展開。展示施設の新たな展示の考案・制作と解説、会津型を使った色差し体験の講師



ワークショップ参加者と一緒に型染め作業を行う木幡さん（左奥）

を高校生が行い、好評だった。

プロジェクトの最後を締めくくる企画展「会津型の染型紙『会津型』展」は、染型紙の実物約60点と関連資料から会津型の魅力を紹介。四季折々の自然や動植物をモチーフに描いた繊細で素朴な美しさや、東北地方では容易に手に入らなかった^{かすり}絁織物の柄を表現した紋様など、会津型ならではの特徴的なデザインを楽しむことができる。学芸員の木幡江里さんは、「普段は非公開の資料をご覧いただける貴重な機会。ぜひ細部まで見ていただきたい」と来場を呼びかける。



染型紙「桜と霞の山道」

喜多方の染型紙「会津型」展 — 雪国の四季とたのしむデザイン

日 時：開催中～1/18（日）
10：00～18：00（最終入場17：30まで）
会 場：喜多方市美術館
料 金：一般・大学生130円、小・中学・高校生50円
65歳以上75歳未満60円
未就学児・75歳以上無料
休 日：水曜日、12/28～1/4
問合せ：喜多方市教育委員会文化課 文化芸術振興班
(0241)24-5323



公益財団法人

福島県文化振興財団

【問合せ先】〒960-8115 福島県福島市山下町1-25

とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）管理事務所

TEL(024)534-9191 FAX(024)536-1926